

令和3年10月18日

保護者各位

鳥栖市立若葉小学校
校長 山本 春文

令和3年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要について（お知らせ）

令和3年度全国学力・学習状況調査の結果が文部科学省から公表されましたので、その調査結果をもとに本校の結果について分析をしました。結果の概要についてお知らせします。

なお、以下に示す内容は学力の特定の一部であること、また、学校における教育活動の一側面であることを御理解くださいますようお願いいたします。

1 令和3年度全国学力・学習状況調査について

令和3年5月27日、下記のような内容で全国一斉に小学校6年生を対象として実施されました。調査内容は、次のとおりです。

(1) 教科に関する調査（国語、算数）
※平成31年度(令和元年度)より、主として「知識」に関する問題と主として「活用」に関する問題を一体的に調査されています。
(2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査
※学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関して調査されています。

2 教科に関する調査結果から全国平均正答率と比較して見える本校児童の姿

(1) 国語について（★は特に課題が見えたところ）

- ・全体の平均正答率は、全国の平均正答率より下回っていました。
- ・「書くこと」については、全国の平均正答率を上回っていました。しかし、「言葉の特徴や使い方に関する事項」「読むこと」については、全国平均正答率を下回っており課題が見られました。
- ・目的や意図に応じて理由を明確にしながら自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する問題においては、全国の平均正答率を大きく上回っていました。
- ★目的に応じて必要な情報を見つけたり、目的を意識して中心となる語や文を見付け要約したりするという記述式の問題については、全国の平均正答率を下回っており課題が見られました。

(2) 算数について（★は特に課題が見えたところ）

- ・全体の平均正答率は、全国の平均正答率より下回っていました。
- ★「数と計算」「変化と関係」については、全国の平均正答率を下回っており課題が見られました。
- ・評価の観点別に見ると、「思考・判断・表現」については、全国の平均正答率を下回っており課題が見られました。
- ★条件に合う時刻を求める問題や三角形の面積の求める問題、棒グラフから数量を読み取る問題など、基礎的・基本的な問題については、全国の平均正答率を上回っていました。しかし、問題に対する自分の考えやその根拠を式や言葉等で書き表す問題については、全国の平均正答率を下回っており課題が見られました。

3 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査結果から見える本校児童の姿

- ・「自分でやると決めたことはやり遂げるようにしています」と回答した割合は 57.8 ポイント（全国は 35.9 ポイント）、「難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦しています」と回答した割合は 35.9 ポイント（全国は 24.4 ポイント）となっており、難しい課題に対しても自分の力で何とか努力しようとする意識の高さがうかがえました。
- ・「授業で ICT 機器をどの程度利用しましたか」の問いに 81.3 ポイント（全国は 11.2 ポイント）の児童がほぼ毎日と回答し、さらに、「学習の中でコンピュータなどの ICT 機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか」の問いに役に立つと思う・どちらかといえば役に立つと全児童が回答しており、ICT 機器を利活用する必要性を児童自身が感じていることがうかがえました。
- ・「自分の思っていることや感じていることをきちんと言葉で表すことができます」と回答した割合は 18.8 ポイント（全国は 26.7 ポイントとなっており、自分の考えを言葉で相手に伝えることが難しいと感じている児童が多くいるようでした。
- ・「朝食を毎日食べていますか」の問いに 89.1 ポイント（全国は 85.8 ポイント）の児童が毎日食べていると回答していました。
- ・「平日に、学校の授業時間以外で、1 日当たり 1 時間以上勉強している」と回答した児童の割合は 62.6 ポイント（全国は 62.5 ポイント）となっていました。

4 今後の改善策（児童の力をさらに伸ばすために）

- ・授業のねらいに基づく「めあて」と「まとめ」、「振り返り」を位置づけた分かりやすい授業を行います。また、自分の考えを書く学習活動を様々な教科において継続して行います。
- ・国語や算数、特別活動などの授業の中で児童同士が交流する「友達タイム」を積極的に取り入れることにより、児童の考えを深めたり広げたりするとともに、互いの理解の定着を促すようにします。
- ・電子黒板やタブレット端末を授業の中に効果的に活用し、個に応じた指導や分かりやすい授業を継続して行います。
- ・児童理解に努め、日頃から安心して学べる学級づくりに取り組むとともに、一人一人を大切に学習を進めるように心掛けます。
- ・朝の時間を活用し、月曜日の「スキルタイム」では、視写の活動を中心に「書く力」を伸ばす取組を継続して行います。

若葉小教職員全員が「若葉スタンダード」を共通理解し、一致団結して「確かな学びの積み上げ」に向け努力していきます。

ご家庭でも次のようなことに心掛けていただければと思います。

「学力向上に向けた取り組み」「家庭学習のしおり」「家庭学習の指針」をすでに学校から配布し、以下の内容についてお知らせやお願いをしていますので、どうぞよろしくお願い致します。

①家庭学習時間のめやす（10分×学年数字＋10分）「家庭学習の指針」参照

②家庭学習で行うべき内容のアドバイス

③児童の家庭学習に当たって、保護者に協力していただきたい事柄

学年に応じた内容にしています。ご確認の上、ご協力よろしく申し上げます。

なお、わかりにくい部分がありましたら、気軽に学校までお電話ください。

【担当】教務 古城武史 教頭 馬場広城 電話 82-8722